

中学歴史教科書 読み比べ

平成31年
1月13日(日)
第2号

〈発行者〉
千葉県
中学歴史教科書
読み比べ会

〈連絡先電話〉
070-6941-1941

韓国併合は 違法な植民地支配だったのか？

韓国併合前



韓国併合後



〈韓国併合前と韓国併合後の変化・ソウル南大門〉

【はじめに】

平成三〇(二〇一八)年一〇月三〇日、韓国大法院(最高裁)は、韓国人四人が日本企業を相手に起こした「戦時徴用工」の訴訟で、日本企業側敗訴の判決を下した。

これは、昭和四〇(一九六五)年に締結された日韓基本条約、及び日韓請求権協定をまったく無視する判決であった。

その判決文の中に、次のような興味深い一文があった。

「原告は未払い賃金の支払いを求めているのではない。日

本の違法な植民地支配、日本企業の反人道的不法行為を前提にした慰謝料を請求しているのだ」(朝日新聞GLOBEより)

明治四三(一九一〇)年の「韓国併合」を「違法な植民地

支配」とは、おかしな話である。右の写真を見れば、一目で

理解できるように、日本は当時の韓国(朝鮮半島)に対し、

莫大な投資、民生の安定化策、近代化の推進を行っていた

のであり、収奪を目的とするものではなかったのである。

果たしてこれを「違法な植民地支配」と呼ぶのだろうか？

日本による「韓国併合」を、「違法な植民地支配」や「侵略」だという考え方は、あくまで韓国側の主張に過ぎない。ところが、昭和五七(一九三二)年、大手新聞各社の誤報騒動に始まる「歴史教科書検定問題」で、時の鈴木善幸内閣が「近隣諸国条項」を決定したため、我が国の歴史教科書の記述は、中国・韓国側の主張に、一定の配慮せざるを得なくなってしまう。

だが、そうした配慮はあくまでも歴史の事実在即したものでなければならぬはずである。

あれから三六年の歳月が流れ、中学歴史教科書の記述は、現在どうなっているのだろうか？

以下、東京書籍、教育出版、帝国書院、自由社の順に引用する。

【東京書籍】

「韓国の植民地化」本文一八〇頁

「日露戦争の最中から、韓国は、日本による植民地化の圧力にさらされていきました。日本は、一九〇五(明治三八)年に韓国の外交権をうばって保護国にし、韓国統監府を置きました。…」

「一九一〇年、日本は韓国を併合しました(韓国併合)。…また、強い権限を持つ朝鮮総督府を設置して、武力で民衆の抵抗をおさえ、植民地支配を推し進めました。学校では朝鮮の文化や歴史を教えることを厳しく制限し、日本史や日本語を教え、日本人に同化させる教育を行いました。植民地支配は、一九四五(昭和二〇)年の日本の敗戦まで続きました。」

【教育出版】

「朝鮮の三・一独立運動」本文二〇二頁

「第一次大戦が終わると、日本の植民地とされていた朝鮮では、独立への希望が高まりました。一九一九(大正八)年三月一日、京城(現在のソウル)で朝鮮の独立が宣言され、人々が「独立万歳」を叫んで行進したのをきっかけに、独立を求める運動が朝鮮全土に広がりました。朝鮮総督府が、軍隊や警察の力でこれをおさえつけると、運動は激しくなり、人々は役所を襲撃したり、軍隊や警察と衝突したりしました。多くの死者を出しながらも、独立運動は5月まで続きました。これを三・一独立運動といいます。」

「(欄外) 日本は、韓国を併合した一九一〇年に、漢城を京

城と改称しました。≫

【帝国書院】

「韓国併合と植民地・「満州」での政策」本文一八二頁
 ≪一九〇五（明治三八）年、日本は韓国を保護国として外交権を日本の支配下におき、伊藤博文を韓国統監として派遣しました。のちには内政も支配し、韓国の軍隊・警察を解散させました。このため韓国では、兵士らによる激しい抵抗が各地に広がり、一九〇九年には伊藤が暗殺される事件も起こりました。翌一〇年、日本は韓国を併合し、植民地としました（韓国併合）。：朝鮮では、近代化が進められ鉄道などが整備される一方、学校で日本語や日本の歴史・地理が教えられ、朝鮮の文化や歴史を教える機会は減らされました。：≫

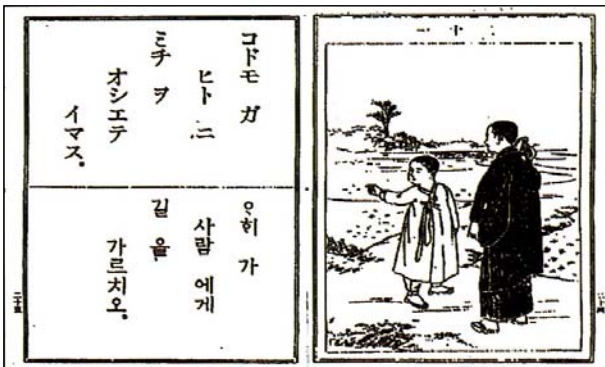
【自由社】

「韓国併合」本文一九八頁
 ≪日本政府は、日本の安全と満州の權益を防衛するため、韓国の安定が必要だと考えた。日露戦争後、日本は韓国統監府を置いて保護国とし、近代化を進めた。日本の方針に反発した韓国皇帝は、ハーグ事件をおこした。欧米列強は、ロシアの北満州・蒙古、英領フィリピンなど、自国の植民地支配を日本が承認するのと引きかえに、日本による韓国の保護国化を承認した。一九一〇（明治四三）年、日本は武力を背景に韓国内の反対をおさえ、併合を断行した（韓国併合）。

併合後におかれた朝鮮総督府は、植民地の政策の一環として、朝鮮の鉄道・灌漑施設をつくるなどの開発を行い、土地調査を実施しました。また、学校も開設し、日本語教育とともに、ハンダ文字を導入した教育を行った。≫

以上、引用終わり。

東京書籍では、日本が武力によって、強硬な手段で韓国を征服し、韓国民に苦痛を与え、「植民地支配」を推し進めたかのような記述になっている。また、教育出版では、本文ではなく欄外に「韓国併合」を記述するなど、



＜日本統治時代の韓国の教科書（自由社版中学歴史教科書より）＞

「植民地支配」をあえて強調し、それに対する庶民の抵抗に焦点を当てている傾向がある。

しかし日本は、朝鮮総督府に対し、当時の価格で毎年一千万円以上の補助金を拠出する一方、学校では、ハンダ文字と日本語の両方を教えていたのである。こうした日本側の努力が、果たして当時の韓国人に苦痛を与えたのかどうかは甚だ疑問が残る。と同時に、「併合」を歓迎した多くの韓国人がいたことも忘れてはならないのではないかと、

「侵略」とかいつた声は、ほとんど聞こえて来たことがない。東京書籍、教育出版、及び帝国書院に共通して言える問題は、「韓国併合」が、あくまで韓国（朝鮮）側の主張に配慮したかたちで記述されているという点にある。

一方、自由社では、韓国を併合した理由が、日本の安全保障と満州の權益の防衛にあつたとしており、単なる「植民地支配」が目的だつたのではないことが記述されている。

自由社以外の大手三社の教科書は、先の韓国における「戦時徴用工」訴訟の判決文と同じ目線で書かれていることは明白である。

平成二五（二〇一三）年、第二次安倍内閣は、「近隣諸国条項」を「その歴史的役割を終えた」として見直しを行なう決定を下した。それにも拘らず、未だに中学歴史教科書の大半がこれを引きずっていることは、残念としか言いようがない。

日本が韓国を統治した時代の事実を伝えず、韓国側の主張を教科書に記述して、日本の子供に一体何を刷り込むつもりなのだろうか？ 以上

「中学歴史教科書読み比べについて」

千葉県内の中学歴史教科書の採択状況は、左記のとおりです。教育出版（船橋、習志野、八千代、香取、神崎、多古、東庄）

帝国書院（市川、浦安）

東京書籍（右を除く市町村）

私共は、この大手三社に加え、自由社の併せて四社の歴史教科書を約二年間に亘って読み比べました。その結果、正しい歴史の記述がなされ、子供が日本の国に誇りの持てる歴史教科書は、自由社の教科書であるとの結論に至りました。

私共は、これを踏まえ、県内の中学生の子供を持つ父兄、並びに教育関係者への周知を図るため、この「中学歴史教科書読み比べ」を不定期に発行し、現在千葉県内で採択されている大手三社の歴史教科書の問題点を明らかにしてゆく所存です。（会員一同）